

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	サイバーナイフによる定位放射線治療および従来通常分割照射における治療効果および有害事象の比較
研究責任者	野末政志
研究実施体制	当院腫瘍放射線科、放射線部、外来看護課が中心となり研究を実施する
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2022年3月31日
対象者	2021年5月から2022年7月までに当院でサイバーナイフによる定位照射を行った46例と、2019年3月から2021年1月までに当院でリニアックでの回転型IMRTによる通常分割照射を行った45例。 全例、ホルモン療法を行っていない低・中リスク限局性前立腺癌を対象。
研究の意義・目的	サイバーナイフが行う定位放射線治療(超寡分割照射)が与える治療効果および有害事象を、従来の放射線治療と比較し、さらに効果的な治療方法を築き上げていく。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 年齢、iPSA、NCCNリスク分類、CTCAE v5.0有害事象、グリソンスコア、Tステージ 【評価・解析方法】カテゴリ変数の相関はFisherの正確検定を行い、連続変数はWilcoxonの検定を行った。Follow-up期間は治療初日を起点に計測した。p値が0.05未満を統計的に有意とみなした。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腫瘍放射線科 野末政志 TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00~17:00 平日